

T-G057



最 終 報 告 書

ベンジル（ジメチル）（オクタン-1-イル）アンモニウム=クロリドの
ほ乳類培養細胞を用いる染色体異常試験

試験番号：T-G057

試験期間：2013年4月4日-2013年11月20日

試験施設

株式会社ボゾリサーチセンター 東京研究所
〒156-0042 東京都世田谷区羽根木 1-3-11

試験委託者

厚生労働省 医薬食品局
審査管理課 化学物質安全対策室
〒100-8916 東京都千代田区霞が関1丁目2番2号

株式会社ボゾリサーチセンター
〒151-0065 東京都渋谷区大山町 36-7

T-G057

1. GLP 陳述書

試験番号 : T-G057

試験表題 : ベンジル (ジメチル) (オクタン-1-イル) アンモニウム=クロリドのほ乳類培養細胞を用いる染色体異常試験

本試験は以下の GLP 基準を遵守して実施したものです。

- 「新規化学物質等に係る試験を実施する試験施設に関する基準」
(平成 23 年 3 月 31 日、薬食発 0331 第 8 号、平成 23・03・29 製局第 6 号、
環企発第 110331010 号)

2013 年 11 月 20 日

試験責任者

株式会社ボゾリサーチセンター 東京研究所 研究部

2. 目次

1.	GLP陳述書	2
2.	目次	3
3.	試験実施概要	7
3.1	試験番号	7
3.2	試験表題	7
3.3	試験目的	7
3.4	試験委託者	7
3.5	試験受託者	7
3.6	試験実施施設	7
3.7	試験日程	7
3.8	試験責任者	7
3.9	試験担当者	8
3.10	予見することができなかつた試験の信頼性に影響を及ぼす疑いのあ る事態及び試験計画書に従わなかつたこと	8
3.11	資料保存	8
3.12	試験責任者の記名・捺印及びその日付	9
4.	要約	10
5.	緒言	11
6.	試験材料及び方法	12
6.1	被験物質及び溶媒	12
6.1.1	被験物質	12
6.1.2	溶媒	13
6.2	被験液の調製	13
6.2.1	調製方法	13
6.2.2	調製頻度	13
6.3	対照物質	14
6.3.1	陰性対照	14
6.3.2	陽性対照	14
6.4	使用細胞株	15
6.4.1	細胞株	15
6.4.2	細胞の選択理由	15
6.4.3	培養条件	15
6.5	S9 mix及び培養液の調製	15
6.5.1	S9 mix	15
6.5.2	培養液	16
6.6	試験方法 ¹⁾⁻⁵⁾	17

6.6.1	識別方法	17
6.6.2	用量の設定	17
6.6.3	細胞増殖抑制試験	18
6.6.4	染色体異常試験	18
6.6.5	標本の観察	20
6.6.6	染色体異常の分類	20
6.6.7	判定基準	21
7.	試験結果	22
7.1	細胞増殖抑制試験	22
7.2	染色体異常試験	22
8.	考察	23
9.	文献	24

添付資料

Attached Data 1	Certification of Analysis(1/2、2/2)	25
Attached Data 2	CERTIFICATE OF ANALYSIS (Stability of Test Article) (1/2、2/2)	27

図

Fig. 1	Results of the chromosome aberration test in cultured Chinese hamster (CHL/IU) cells treated with Benzyl(dimethyl)(octan-1-yl)ammonium chloride [Short-term treatment: +S9 mix]	29
Fig. 2	Results of the chromosome aberration test in cultured Chinese hamster (CHL/IU) cells treated with Benzyl(dimethyl)(octan-1-yl)ammonium chloride [Short-term treatment: -S9 mix]	30
Fig. 3	Results of the chromosome aberration test in cultured Chinese hamster (CHL/IU) cells treated with Benzyl(dimethyl)(octan-1-yl)ammonium chloride [Continuous treatment: 24hr]	31
Fig. 4	Results of the chromosome aberration test in cultured Chinese hamster (CHL/IU) cells treated with Benzyl(dimethyl)(octan-1-yl)ammonium chloride [Continuous treatment: 48hr]	32

T-G057

表

Table 1	Chromosome aberration in cultured Chinese hamster (CHL/IU) cells treated with Benzyl(dimethyl)(octan-1-yl)ammonium chloride [Short-term treatment: +S9 mix].....	33
Table 2	Chromosome aberration in cultured Chinese hamster (CHL/IU) cells treated with Benzyl(dimethyl)(octan-1-yl)ammonium chloride [Short-term treatment: -S9 mix]	34
Table 3	Chromosome aberration in cultured Chinese hamster (CHL/IU) cells treated with Benzyl(dimethyl)(octan-1-yl)ammonium chloride [Continuous treatment: 24hr].....	35
Table 4	Chromosome aberration in cultured Chinese hamster (CHL/IU) cells treated with Benzyl(dimethyl)(octan-1-yl)ammonium chloride [Continuous treatment: 48hr].....	36

附表

Appendix 1	Results of the cell-growth inhibition test in cultured Chinese hamster (CHL/IU) cells treated with Benzyl(dimethyl)(octan-1-yl)ammonium chloride	37
Appendix 2-1	Cell-growth ratio in the cell-growth inhibition test in cultured Chinese hamster (CHL/IU) cells treated with Benzyl(dimethyl)(octan-1-yl)ammonium chloride [Short-term treatment: +S9 mix].....	38
Appendix 2-2	Cell-growth ratio in the cell-growth inhibition test in cultured Chinese hamster (CHL/IU) cells treated with Benzyl(dimethyl)(octan-1-yl)ammonium chloride [Short-term treatment: -S9 mix]	39
Appendix 2-3	Cell-growth ratio in the cell-growth inhibition test in cultured Chinese hamster (CHL/IU) cells treated with Benzyl(dimethyl)(octan-1-yl)ammonium chloride [Continuous treatment: 24hr].....	40
Appendix 2-4	Cell-growth ratio in the cell-growth inhibition test in cultured Chinese hamster (CHL/IU) cells treated with Benzyl(dimethyl)(octan-1-yl)ammonium chloride [Continuous treatment: 48hr].....	41

T-G057

Appendix 3-1	Results of observation in the chromosome aberration test in cultured Chinese hamster (CHL/IU) cells treated with Benzyl(dimethyl)(octan-1-yl)ammonium chloride [Short-term treatment: +S9 mix]	42
Appendix 3-2	Results of observation in the chromosome aberration test in cultured Chinese hamster (CHL/IU) cells treated with Benzyl(dimethyl)(octan-1-yl)ammonium chloride [Short-term treatment: -S9 mix]	43
Appendix 3-3	Results of observation in the chromosome aberration test in cultured Chinese hamster (CHL/IU) cells treated with Benzyl(dimethyl)(octan-1-yl)ammonium chloride [Continuous treatment: 24hr].....	44
Appendix 3-4	Results of observation in the chromosome aberration test in cultured Chinese hamster (CHL/IU) cells treated with Benzyl(dimethyl)(octan-1-yl)ammonium chloride [Continuous treatment: 48hr].....	45
信頼性保証書		46

T-G057

3. 試験実施概要

3.1 試験番号

T-G057

3.2 試験表題

ベンジル（ジメチル）（オクタン-1-イル）アンモニウム=クロリドのほ乳類培養細胞を用いる染色体異常試験

3.3 試験目的

ほ乳類の培養細胞（CHL/IU 細胞株）を用いて、本被験物質の染色体異常誘発能の有無を明らかにした。

3.4 試験委託者

厚生労働省 医薬食品局 審査管理課 化学物質安全対策室
〒100-8916 東京都千代田区霞が関1丁目2番2号
TEL：03-3595-2298（課直通） FAX：03-3593-8913

3.5 試験受託者

株式会社ボゾリサーチセンター
〒151-0065 東京都渋谷区大山町36-7

3.6 試験実施施設

株式会社ボゾリサーチセンター 東京研究所
〒156-0042 東京都世田谷区羽根木1-3-11
株式会社ボゾリサーチセンター 御殿場研究所
〒412-0039 静岡県御殿場市かまど1284

3.7 試験日程

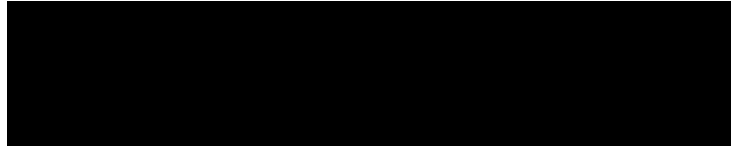
試験開始日	:	2013年 4月 4日
被験物質受領日	:	2012年 11月 6日
実験開始日	:	2013年 4月 5日
実験終了日	:	2013年 5月 30日
試験終了日	:	2013年 11月 20日

3.8 試験責任者

株式会社ボゾリサーチセンター 東京研究所 研究部

3.9 試験担当者

被験物質保存責任者 :
化学分析責任者 :
試験担当者 :



3.10 予見することができなかった試験の信頼性に影響を及ぼす疑いのある事態及び試験計画書に従わなかったこと

本試験において、予見することができなかった試験の信頼性に影響を及ぼす疑いのある事態及び試験計画書に従わなかったことはなかった。

3.11 資料保存

試験計画書原本（変更書含む）、試験に関する記録文書、生データ、染色体標本及び報告書類（最終報告書は原本）は、株式会社ボゾリサーチセンター 御殿場研究所の資料保存施設に最終報告書提出後 10 年間保存する。期間終了後の保存については、厚生労働省と株式会社ボゾリサーチセンター間で協議し、その処置を決定する。

T-G057

3.12 試験責任者の記名・捺印及びその日付

██████████

2013 年 11 月 20 日

██████████

株式会社ポゾリサーチセンター 東京研究所 研究部

4. 要約

ベンジル（ジメチル）（オクタン-1-イル）アンモニウム=クロリドの染色体異常誘発能の有無を検討するため、チャイニーズ・ハムスター肺由来線維芽細胞（CHL/IU）を用いた染色体異常試験を実施した。

細胞増殖抑制試験の結果、短時間処理法の代謝活性化では 725 µg/mL 以上の用量で、短時間処理法の非代謝活性化及び連続処理法の 24 時間処理では 363 µg/mL 以上の用量で、連続処理法の 48 時間処理では 90.6 µg/mL 以上の用量で 50%を超える細胞増殖抑制作用が認められた。この結果より、短時間処理法の代謝活性化では 725 µg/mL を最高用量とし、以下公比 1.5 で希釈した 4 用量を、短時間処理法の非代謝活性化では 483 µg/mL を最高用量とし、以下公比 1.5 で希釈した 4 用量を、連続処理法の 24 時間処理では 363 µg/mL を最高用量とし、以下公比 1.5 で希釈した 5 用量を、連続処理法の 48 時間処理では 181 µg/mL を最高用量とし、以下公比 2 で希釈した 5 用量を設定して染色体異常試験を実施した。

染色体異常試験の結果、染色体構造異常の一つの指標であるギャップを含まない染色体異常を有する細胞の出現率（TA 値）及び倍数体の出現率は、いずれの処理法においても、すべての用量で陰性の判定基準である 5%未満を示したため、陰性と判定した。

なお、すべての処理法において、陰性対照群では染色体構造異常を有する細胞及び倍数体の出現頻度は 5%未満で、陰性の判定基準内であった。これに対して、陽性対照群では著しい染色体構造異常の誘発が認められた。従って、試験は適切に実施されたと考えられた。

以上の結果から、ベンジル（ジメチル）（オクタン-1-イル）アンモニウム=クロリドは本試験条件下において、染色体構造異常及び染色体数的異常は誘発しないと結論した。

5. 緒言

厚生労働省の依頼により、ベンジル（ジメチル）（オクタン-1-イル）アンモニウム=クロリドの安全性評価の一環として、ほ乳類の培養細胞（CHL/IU）を用いる染色体異常試験を実施したので、その成績を報告する。なお、本試験は以下の基準を遵守し、ガイドラインに準拠して実施した。

1) GLP

- 「新規化学物質等に係る試験を実施する試験施設に関する基準」（平成 23 年 3 月 31 日、薬食発 0331 第 8 号、平成 23・03・29 製局第 6 号、環企発第 110331010 号）

2) 遺伝毒性試験ガイドライン

- 「新規化学物質等に係る試験の方法について」（平成 23 年 3 月 31 日：薬食発 0331 第 7 号、平成 23・03・29 製局第 5 号、環企発第 110331009 号）
- 「OECD Guidelines for Testing of Chemicals 473」（OECD 理事会：1997 年 7 月 21 日）

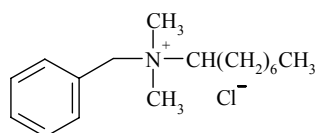
T-G057

6. 試験材料及び方法

6.1 被験物質及び溶媒

6.1.1 被験物質

製造元	:	████████████████████
名称	:	ベンジル（ジメチル）（オクタン-1-イル）アンモニウムクロリド
英名	:	Benzyl(dimethyl)(octan-1-yl)ammonium chloride
製品名	:	Benzyl dimethyloctylammonium chloride
CAS 番号	:	959-55-7
構造式又は示性式	:	



分子式	:	C ₁₇ H ₃₀ ClN
分子量	:	283.88
常温における性状（概観）	:	白色粉末
ロット番号	:	20120927
純度	:	95%以上
試験期間中の安定性	:	実験終了後、株式会社ボゾリサーチセンター 御殿場研究所で被験物質が安定であることを確認した。
入手量	:	25.00 g
保存条件	:	気密、冷所（冷蔵庫内、許容値：1～10°C、実測温度：3～8°C）、防湿
保存場所	:	御殿場研究所 被験物質保存室及び 御殿場研究所 生化学部標準物質保存場所及び 東京研究所 被験物質調製保存室 東京研究所 被験物質保存室（2013年4月1日より） ^{a)}
取り扱い上の注意	:	作業場の換気を十分に行い、マスク、保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用し、直接の接触を防ぐ。取り扱い後は、手、顔等を良く洗い、うがいをする。
使用後の処理	:	被験物質の残量は安定性を確認後、すべて廃棄した。 a) 試験施設内の被験物質管理区域の変更に伴う。

6.1.2 溶媒

名称	:	注射用水
ロット番号	:	2I96N、2E82N
規格	:	日本薬局方
製造元	:	株式会社大塚製薬工場
保存方法	:	室温
保存場所	:	東京研究所 標本作製室
溶媒の選択理由	:	供試前試験の結果、注射用水（29.0 mg/mL）に溶解したことから、溶媒として注射用水を用いた。

6.2 被験液の調製

6.2.1 調製方法

1) 細胞増殖抑制試験

被験物質 0.2900 g を 10 mL メスフラスコに秤取した。溶媒を添加し、溶解した後に、メスアップして最高濃度の 29.0 mg/mL 溶液（プレートに 0.500 mL 添加した際の最終濃度：2900 µg/mL）を調製した。次いで、29.0 mg/mL 溶液を公比 2（各濃度の被験液 5 mL：溶媒 5 mL）で順次 7 段階希釈し、14.5、7.25、3.63、1.81、0.906、0.453 及び 0.227 mg/mL の 8 濃度段階の被験液を調製した。

2) 染色体異常試験

短時間処理法では、被験物質 0.1450 g を 20 mL メスフラスコに秤取した。溶媒を添加し、溶解した後に、メスアップして最高濃度の 7.25 mg/mL 溶液（プレートに 0.500 mL 添加した際の最終濃度：725 µg/mL）を調製した。次いで、7.25 mg/mL 溶液を公比 1.5（各濃度の被験液 10 mL：溶媒 5 mL）で順次 4 段階希釈し、4.83、3.22、2.15 及び 1.43 mg/mL の 5 濃度段階の被験液を調製した。連続処理法では、被験物質 0.1450 g を 20 mL メスフラスコに秤取した。溶媒を添加し、溶解した後に、メスアップして最高濃度の 7.25 mg/mL 溶液を調製した。次いで、7.25 mg/mL 溶液を公比 2（被験液 15 mL：溶媒 15 mL）で希釈し、3.63 mg/mL の被験液を調製した。次いで、3.63 mg/mL 溶液を公比 1.5（各濃度の被験液 10 mL：溶媒 5 mL）で順次 4 段階希釈し、2.42、1.61、1.07 及び 0.716 mg/mL の被験液を調製した。更に、3.63 mg/mL 溶液を公比 2（各濃度の被験液 5 mL：溶媒 5 mL）で順次 5 段階希釈し、1.81、0.906、0.453、0.227 及び 0.113 mg/mL の被験液を調製した。

6.2.2 調製頻度

用時に調製した。なお、残余被験液はすべて貯蔵し焼却処分した。

T-G057

6.3 対照物質

6.3.1 陰性対照

溶媒として用いる注射用水を陰性対照とした。

6.3.2 陽性対照

1) 代謝活性化

シクロフォスファミド (CP)

ロット番号	:	WEF3430
製造元	:	和光純薬工業株式会社
純度	:	生化学用 (97%以上)
保存方法	:	冷蔵、遮光
保存場所	:	東京研究所 培養細胞試験室 冷蔵庫

2) 非代謝活性化

マイトマイシン C (MMC)

ロット番号	:	564AAI
製造元	:	協和発酵キリン株式会社
力価	:	2 mg (力価) /瓶
保存方法	:	室温、遮光
保存場所	:	東京研究所 培養細胞試験室

3) 調製方法

調製はすべて用時に行い、残余液はすべて一定期間貯蔵した後に焼却処分した。

(1) 染色体異常試験 短時間処理法 代謝活性化

CP 0.0140 g を γ 線滅菌済プラスチック遠沈管 (50 mL) に秤取した。これに生理食塩液 (日本薬局方、株式会社大塚製薬工場、ロット番号: K2J00) を 20 mL 加えて溶解し、0.70 mg/mL 溶液を調製した (培養液 4.900 mL に 0.100 mL を加えた。この時の最終濃度は 14 μ g/mL)。

(2) 染色体異常試験 短時間処理法 非代謝活性化及び連続処理法

MMC の 2 mg 充填バイアルに生理食塩液 (日本薬局方、株式会社大塚製薬工場、ロット番号: K2J00) を注射筒で 2 mL 加えて溶解した (1 mg/mL)。次に、この溶液を公比 20 で順次 2 段階希釈 (溶液 0.250 mL : 生理食塩液 4.750 mL) し、0.050 及び 0.0025 mg/mL の溶液を調製した (短時間処理法では培養液 4.850 mL に 0.0025 mg/mL 溶液 0.150 mL を、連続処理法では培養液 4.900 mL に 0.0025 mg/mL 溶液 0.100 mL を加えた。この時の最終濃度はそれぞれ 0.075 及び 0.050 μ g/mL)。

4) 陽性対照物質の選択理由

遺伝毒性試験ガイドライン (前述 5. 2) 項) に使用が推奨されていること及び水溶性で調製が比較的容易であることから CP 及び MMC を選択した。

6.4 使用細胞株

6.4.1 細胞株

チャイニーズ・ハムスターの肺由来線維芽細胞(CHL/IU)を用いた。ヒューマンサイエンス研究資源バンクから 2010 年 10 月 13 日に入手し、凍結保存した細胞について定期的に細胞の性状検査を実施して、性状が適正であること（培養形態、細胞倍加時間 15~20 時間以内、染色体数の平均が 25 本、マイコプラズマ等の汚染がない）が確認されたものを 30 継代以内で試験に使用した。使用時の細胞継代数は細胞増殖抑制試験では 25 継代、染色体異常試験の短時間処理法では 5 継代、連続処理法では 11 継代であった。

6.4.2 細胞の選択理由

自然発生の染色体異常出現率が低いこと、種々の化学物質に対して感受性が高いこと、背景データも多いこと及びほ乳類の培養細胞を用いる染色体異常試験に広く用いられていることから、本細胞株を選択した。

6.4.3 培養条件

炭酸ガス培養装置を用い、CO₂濃度 5%、温度 37°C、高湿度条件下で培養した。継代は 1~4 日ごとに行った。

6.5 S9 mix 及び培養液の調製

6.5.1 S9 mix

S9 及び補酵素（S9/コファクターC セット、ロット番号： C130125111 及び C130222121、オリエンタル酵母工業株式会社）を混合し、S9 mix を調製した。調製は使用時に行った。

1) S9

名称	:	S9
ロット番号	:	13012511、13022212
製造日	:	2013 年 1 月 25 日 (Lot No.13012511) 2013 年 2 月 22 日 (Lot No.13022212)
種・系統	:	ラット・SD 系
性	:	雄
週齢	:	7 週齢
誘導物質	:	フェノバルビタール (PB) 及び 5, 6-ベンゾフラボン (BF)
投与方法	:	腹腔内投与
投与期間及び投与量	:	PB 4 日間 30+60+60+60 mg/kg body weight BF 1 日 80 mg/kg body weight
保存方法	:	冷凍 (-70°C 以下の冷凍庫)

T-G057

使用期限 : 2013年7月24日 (Lot No.13012511)
2013年8月21日 (Lot No.13022212)

保存場所 : 東京研究所 被験物質調製室 超低温フリーザー

2) 補酵素

名称 : コファクターC

ロット番号 : C13012311、C13022012

製造日 : 2013年1月23日 (Lot No. C13012311)

2013年2月20日 (Lot No. C13022012)

保存方法 : 冷凍 (-70°C以下の冷凍庫)

使用期限 : 2013年7月22日 (Lot No. C13012311)

2013年8月19日 (Lot No. C13022012)

保存場所 : 東京研究所 被験物質調製室 超低温フリーザー

3) S9mixの組成

S9 2 mL

補酵素	4.7 mL	20 mmol/L HEPES 緩衝液 (pH 7.2)	1.34 mL
		50 mmol/L 塩化マグネシウム水溶液	0.67 mL
		330 mmol/L 塩化カリウム水溶液	0.67 mL
		50 mmol/L グルコース-6-リン酸水溶液	0.67 mL
		40 mmol/L 酸化型ニコチンアミドアデニン ジヌクレオチドリン酸 (NADP) 水溶液	0.67 mL
		精製水	0.67 mL

6.5.2 培養液

Minimum Essential Medium (MEM)(GIBCO™、Cat.No.11095)に非働化 (56°C、30分) した牛血清(bovine serum、BS) を 10 v/v%添加した培養液(BS-MEM)を用いた。調製後の培養液は冷蔵保存した。

1) 牛血清

ロット番号 : 8155322、1127560

製造元 : Life Technologies Corporation

保存方法 : 冷凍 (-20°C以下の冷凍庫)

保存場所 : 東京研究所 培養細胞試験室 冷凍庫

2) MEM

ロット番号 : 1237600

製造元 : Life Technologies Corporation

保存方法 : 冷蔵

保存場所 : 東京研究所 培養細胞試験室 冷蔵庫

6.6 試験方法¹⁾⁻⁵⁾

試験は以下に示したステージの順に実施した。

1. 細胞増殖抑制試験	短時間処理法	代謝活性化 非代謝活性化
	連続処理法	24 時間処理 48 時間処理
2. 染色体異常試験	短時間処理法	代謝活性化 非代謝活性化
	連続処理法	24 時間処理 48 時間処理

6.6.1 識別方法

以下のように定めた記号又は数字を記したラベルを、シャーレ及びスライドグラスに貼付して識別を行った。

対象	内容	記号又は数字
シャーレ	短時間処理法 代謝活性化	+
	短時間処理法 非代謝活性化	-
	連続処理法 24 時間処理	24-
	連続処理法 48 時間処理	48-
	陰性対照群	NC
	被験物質処理群	高濃度から 1、2、3・・・n の枝番号
	陽性対照群	PC
同一処理群内での識別		1、2、3、4
染色体標本	盲検法によってランダムにコード化した処理内容	試験番号とコンピュータが無作為に割り振った「01」～「99」までの 2 桁の番号及びスライドの枚数を表す枝番号

6.6.2 用量の設定

1) 細胞増殖抑制試験

最高用量を 2900 µg/mL (10 mM 相当) とし、以下公比 2 で希釈した 1450、725、363、181、90.6、45.3 及び 22.7 µg/mL の計 8 用量を設定した。これに陰性対照群を設けた。

2) 染色体異常試験

短時間処理法の代謝活性化では最高用量を 725 µg/mL とし、以下公比 1.5 で希釈した 483、322 及び 215 µg/mL の計 4 用量を、短時間処理法の非代謝活性化では最高用量を 483 µg/mL とし、以下公比 1.5 で希釈した 322、215 及び 143 µg/mL の計 4 用量を、連続処理法の 24 時間処理では最高用量を 363 µg/mL とし、以下公比 1.5 で希釈した 242、161、107 及び 71.6 µg/mL の計 5 用量を、48 時間処理

では最高用量を 181 µg/mL とし、以下公比 2 で希釈した 90.6、45.3、22.7 及び 11.3 µg/mL の計 5 用量を設定した。これに陰性対照群及び陽性対照群を設けた。

6.6.3 細胞増殖抑制試験

染色体異常試験の用量を設定するための予備試験として実施した。なお、以下の試験操作のうち、無菌性を必要とした場合は、無菌環境下において、滅菌済の器具を用いて、無菌操作によって実施した。

- 1) 短時間処理法の代謝活性化と非代謝活性化、連続処理法の 24 時間処理と 48 時間処理のそれぞれに、陰性対照群及び被験物質処理群を設けた。シャーレはプラスチックプレート（直径 60 mm）を用い、各群 2 枚とした。
- 2) プレート当たり 2×10^4 個の細胞（培養液 5.0 mL）を播種した。
- 3) 培養 3 日後に、倒立位相差顕微鏡下で観察し、細胞に異常のないことを確認してから、下表に従い、培養液の除去及び処理を行った。

	短時間処理法		連続処理法	
	代謝活性化	非代謝活性化	24 時間処理	48 時間処理
培養液除去量	1.333 mL	0.500 mL	0.500 mL	0.500 mL
S9 mix 添加量	0.833 mL			
溶媒・被験液添加量	0.500 mL	0.500 mL	0.500 mL	0.500 mL

- 4) 各群ともに添加後、肉眼で析出の有無及び培養液の色を確認し、短時間処理法については 6 時間、連続処理法については 24 時間及び 48 時間培養した。
- 5) 短時間処理法の代謝活性化及び非代謝活性化については、培養 6 時間後に肉眼で被験物質の析出の有無を観察するとともに、倒立位相差顕微鏡下で観察し、細胞の状態を確認した。次いで、牛血清を添加した生理食塩液で細胞を洗浄し、新しい培養液 5.0 mL を加え、更に 18 時間培養を続けた。
- 6) 培養終了後、肉眼で析出の有無を確認し、更に細胞の状態を倒立位相差顕微鏡下で観察し、確認した（短時間処理法の培養終了時の結果は、参考データとした）。次いで、細胞を生理食塩液及びメチルアルコール（純度 99%以上）で洗浄・固定し、0.1%クリスタルバイオレット液で染色した。
- 7) 単層細胞密度測定装置（モノセレータ、オリンパス光学工業株式会社）を用いて細胞密度を測定し、陰性対照群の値を 100%として、それぞれについて被験物質の 50%細胞増殖抑制濃度（概略値）を求めた。

6.6.4 染色体異常試験

以下の試験操作のうち、無菌性を必要とした場合は、無菌環境下において、滅菌済の器具を用いて、無菌操作によって実施した。

- 1) 短時間処理法
 - (1) 代謝活性化と非代謝活性化のそれぞれに、陰性対照群、被験物質処理群及び陽性

対照群を設けた。シャーレ（プレート）はプラスチックプレート（直径 60 mm）を用い、プレートは各群 4 枚とした。

- (2) プレート当たり 2×10^4 個の細胞（培養液 5.0 mL）を播種した。
- (3) 培養 3 日後に、倒立位相差顕微鏡下で観察し、細胞に異常のないことを確認してから、下表に従い、培養液の除去及び処理を行った。

	代謝活性化	非代謝活性化
培養液除去量	1.333 mL (0.933 mL)*	0.500 mL (0.150 mL)*
S9 mix 添加量	0.833 mL	
溶媒・被験液・陽性対照物質液添加量	0.500 mL (CP: 0.100 mL)*	0.500 mL (MMC: 0.150 mL)*

*：（ ）内は、陽性対照群の培養液除去量及び陽性対照物質液添加量を示す。

- (4) 各群ともに添加後、肉眼で析出の有無及び培養液の色を確認し、記録した後に、6 時間培養した。
- (5) 培養 6 時間後に、肉眼で被験物質の析出の有無を観察するとともに、倒立位相差顕微鏡下で観察し、細胞の状態を確認した。次いで、牛血清を添加した生理食塩液で細胞を洗浄し、新しい培養液 5.0 mL を加え、更に 18 時間培養を続けた。
- (6) 各群 2 枚のプレート（枝番号-1 及び-2）について、染色体観察用標本作製のため培養終了の約 2 時間前にコルセミド（デメコルシン溶液、10 $\mu\text{g}/\text{mL}$ 、Life Technologies Corporation）を 0.1 mL 加えた。
- (7) 培養終了後、0.25% トリプシン溶液（Trypsin 0.25%、Life Technologies Corporation）で細胞を剥がし、遠心分離によって集めた細胞を 0.075M 塩化カリウム溶液で約 15 分間低張処理し、メチルアルコール：酢酸＝3：1 液で固定した。固定した細胞をスライドガラス 1 枚につき 2 箇所へ滴下した。染色体標本はプレート当たり 2 枚作製した。細胞滴下後、約 1 日空気乾燥し、2% ギムザ液で約 15 分間染色して染色体標本作製した。
- (8) 残る各群 2 枚のプレート（枝番号-3 及び-4）は、培養 6 時間後と同様の方法で 18 時間培養の終了時に、肉眼で析出の有無を確認し、更に倒立位相差顕微鏡下で観察し、細胞の状態を確認した（培養終了時の結果は、参考データとした）。その後、細胞増殖抑制試験に準じクリスタルバイオレット染色した標本作製し、単層細胞密度測定装置を用いて細胞密度を測定した。

2) 連続処理法

- (1) 24 時間処理と 48 時間処理のそれぞれに陰性対照群、被験物質処理群及び陽性対照群を設けた。シャーレ（プレート）はプラスチックプレート（直径 60 mm）を用い、プレートは各群 4 枚とした。
- (2) プレート当たり 2×10^4 個の細胞（培養液 5.0 mL）を播種した。
- (3) 培養 3 日後に、倒立位相差顕微鏡下で観察し、細胞に異常のないことを確認してから、下表に従い、培養液の除去及び処理を行った。

	24 時間処理	48 時間処理
培養液除去量	0.500 mL (0.100 mL)*	0.500 mL (0.100 mL)*
溶媒・被験液・陽性対照物質液添加量	0.500 mL (MMC: 0.100 mL)*	0.500 mL (MMC: 0.100 mL)*

*: () 内は、陽性対照群の培養液除去量及び陽性対照物質液添加量を示す。

- (4) 各群ともに添加後、肉眼で析出の有無及び培養液の色を確認し、記録した後に、24 時間及び 48 時間培養した。
- (5) 各群 2 枚のプレート（枝番号-1 及び-2）について、染色体観察用標本作製のため培養終了の約 2 時間前にコルセミド（デメコルシン溶液、10 µg/mL、Life Technologies Corporation）を 0.1 mL 加えた。
- (6) 培養終了後、0.25% トリプシン溶液（Trypsin 0.25%、Life Technologies Corporation）で細胞を剥がし、遠心分離によって集めた細胞を 0.075M 塩化カリウム溶液で約 15 分間低張処理し、メチルアルコール: 酢酸=3:1 液で固定した。固定した細胞をスライドガラス 1 枚につき 2 箇所へ滴下した。染色体標本はプレート当たり 2 枚作製した。細胞滴下後、約 1 日以上空気乾燥し、2% ギムザ液で約 15 分間染色して染色体標本作製した。
- (7) 残る各群 2 枚のプレート（枝番号-3 及び-4）は、24 時間及び 48 時間の培養の終了時に肉眼で析出の有無を確認し、更に細胞の状態を倒立位相差顕微鏡で観察し確認した。その後、細胞増殖抑制試験に準じクリスタルバイオレット染色した標本作製し、単層細胞密度測定装置を用いて細胞密度を測定した。

6.6.5 標本の観察

顕微鏡下でプレート当たり 100 個、各濃度当たり 200 個の染色体が良く展開した分裂中期像について、構造異常の種類と異常を持つ細胞の数を記録した。同時に倍数体の出現数を記録した。なお、客観的に観察が行われるようにするため、染色体標本はすべて盲検法によって観察した。

6.6.6 染色体異常の分類

染色体異常は構造異常と数的異常に大別し、構造異常は更に以下のように定義・分類した。

1) 構造異常

染色体異常の種類は以下のように定義し分類した。

ギャップ(g) : 染色分体型(ctg)及び染色体型(csg)を含むギャップとは染色体又は染色分体の同軸上に断片があるもの（非染色部分が染色分体の同軸上にある）であって、その

長さが染色分体の幅以下で明瞭な非染色部位が認められるもの。

染色分体型切断(ctb) : 断片が染色分体の同軸上からはずれているもの及び非染色部位が染色分体の同軸上にあっても、その長さが染色分体の幅以上に離れているもの。

染色分体型交換(cte) : 四放射状交換など。

染色体型切断(csb) : 断片が染色体の同軸上からはずれており動原体が認められないもの及び非染色部位が染色体の同軸上にあっても、その長さが染色分体の幅以上に離れているもの。

染色体型交換(cse) : 二動原体染色体、環状染色体など。

その他(other) : 断片化(frg)など。

2) 数的異常

染色体数が、その細胞が本来持っている固有の数（二倍体）と異なり、倍化した場合を数的異常と定義した。

倍数性 : polyploidy（核内倍加体：endoreduplicationを含む）

6.6.7 判定基準

判定に際しては統計学的手法を用いず、石館らの基準¹⁾に従い染色体の構造並びに数的異常を持つ細胞の出現率（%）によって以下のように判定した。

異常細胞の出現率	判定基準
5%未満	陰性 (-)
5%以上 10%未満	疑陽性 (±)
10%以上	陽性 (+)

構造異常の総出現率は、ギャップを含む場合（TAG）と含まない場合（TA）とに分け、総合判定は後者によって行った。

異常細胞の出現率に用量依存性又は再現性が認められた場合を陽性と判定した。

7. 試験結果

7.1 細胞増殖抑制試験

細胞増殖抑制試験の結果を Appendix 1、Appendix 2-1 ~ Appendix 2-4 に示した。

被験液添加直後の観察において、すべての処理法で析出及び培養液の色調変化は認められなかった。

処理終了時の観察において、短時間処理法の代謝活性化では 1450 µg/mL 以上の用量で析出が認められ、その他の処理法では析出は認められなかった。

各処理法における 50%細胞増殖抑制濃度（概略値）は、短時間処理法の代謝活性化で 641 µg/mL、非代謝活性化で 357 µg/mL、連続処理法の 24 時間処理で 211 µg/mL、48 時間処理で 67 µg/mL と算定された。

7.2 染色体異常試験

染色体異常試験の結果を Fig.1 ~ Fig.4、Table 1 ~ Table 4 及び Appendix 3-1 ~ Appendix 3-4 に示した。

被験液添加直後の観察において、すべての処理法で析出及び培養液の色調変化は認められなかった。

処理終了時の観察の際、すべての処理法で析出は認められなかった。

染色体標本の観察の結果、構造異常の出現率（ギャップを含まない場合）及び倍数性異常ともに、いずれの処理法においても増加は認められなかった。

8. 考察

ベンジル（ジメチル）（オクタン-1-イル）アンモニウム=クロリドの染色体異常誘発能の有無を検討するため、チャイニーズ・ハムスター肺由来線維芽細胞（CHL/IU）を用いた染色体異常試験を実施した。

染色体異常試験の結果、染色体構造異常の一つの指標であるギャップを含まない染色体異常を有する細胞の出現率（TA 値）及び倍数体の出現率は、いずれの処理法においても、すべての用量で陰性の判定基準である 5%未満を示したため、陰性と判定した。

なお、すべての処理法において、陰性対照群では染色体構造異常を有する細胞及び倍数体の出現頻度は 5%未満で、陰性の判定基準内にあった。これに対して、陽性対照群では著しい染色体構造異常の誘発が認められた。従って、試験は適切に実施されたと考えられた。

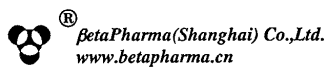
なお、同時に実施している細菌を用いる復帰突然変異試験では陽性と報告されている。⁶⁾

以上の結果より、ベンジル（ジメチル）（オクタン-1-イル）アンモニウム=クロリドは本試験条件下において、染色体構造異常及び染色体数的異常は誘発しないと結論した。

9. 文献

- 1) 石館基監修 (1987) : <改訂>染色体異常試験データ集、pp. 19-24、エル・アイ・シー、東京
- 2) Ishidate M Jr. and Odashima S (1977): Chromosome test with 134 compounds on Chinese hamster cells *in vitro* – A screening for chemical carcinogens, *Mutat. Res.*, **48**, 337-354
- 3) Matsuoka A, Hayashi M and Ishidate M Jr. (1979): Chromosomal aberration tests on 29 chemicals combined with S9 mix *in vitro*, *Mutat. Res.*, **66**, 277-290
- 4) 石館 基 (1982) : 哺乳動物細胞を用いる検索と問題点(Screening Trial to Detect Possible Chemical Mutagens and/or Carcinogens in the Environment - Mammalian Cell Systems), 日本化粧品科学会誌, **6**, 31-43
- 5) Ishidate M Jr., Edited by Obe G and Natarajan AT (1989): Chromosomal Aberrations Basic and Applied Aspects, Springer-Verlag Berlin Heidelberg, 260-271
- 6) (2013) : ベンジル (ジメチル) (オクタン-1-イル) アンモニウム=クロリドの細菌を用いる復帰突然変異試験 (試験番号 : T-1109) 、株式会社ボゾリサーチセンター

T-G057
Attached Data 1 (1/2)



Certification of Analysis

Product Name benzyltrimethyloctylammonium chloride
CAS Number 959-55-7
Catalog No 86-63378
Quantity 1575g
Batch No 20120927
Product Date 2012.09.27
Date of analysis 2012.09.27

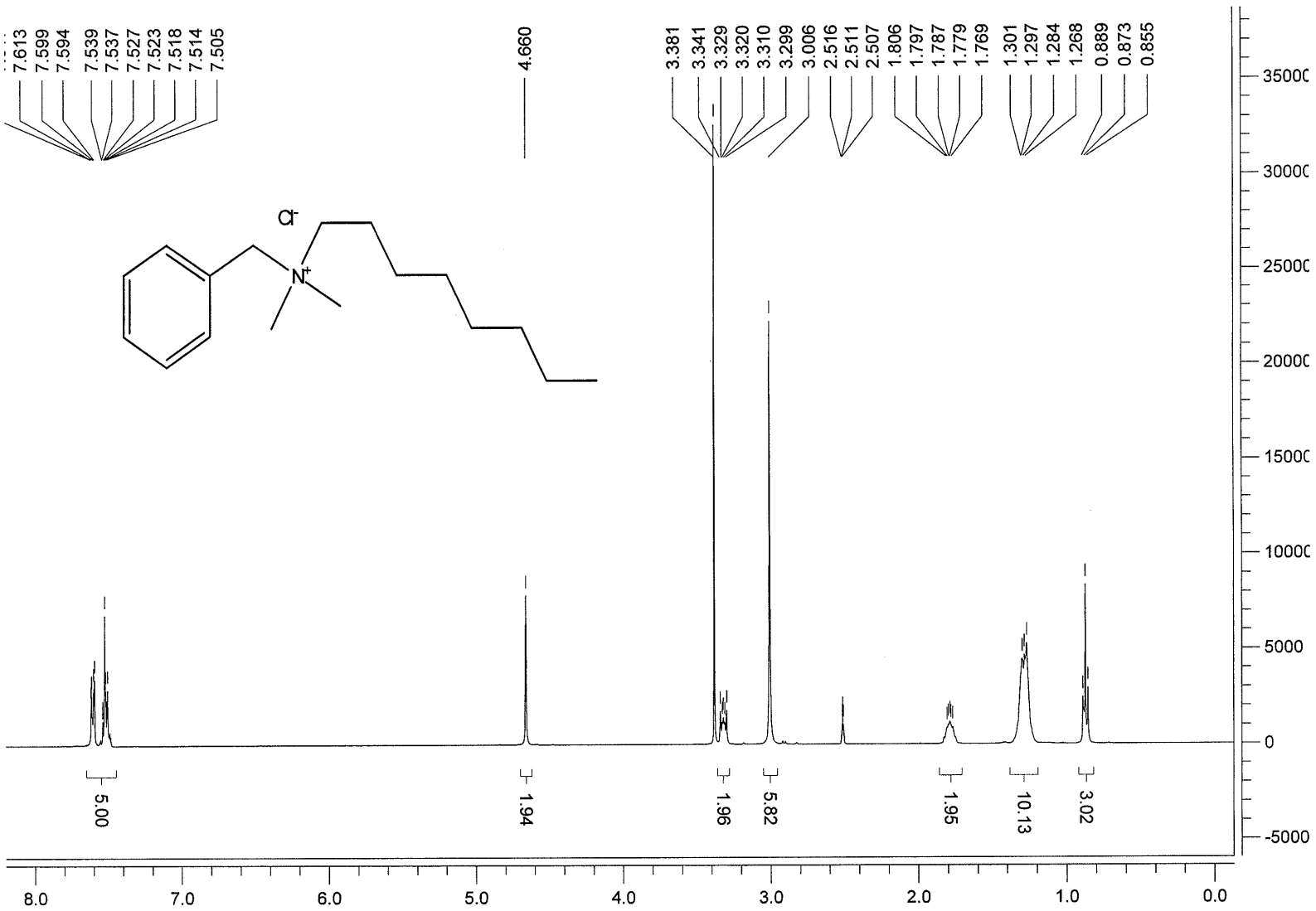
Items of analysis	Specification	Results
Appearance	White powder	Conforms
Assay	≥95%	Conforms
Conclusion	Conform with specification	

Analyst: David Zhang

Check: Jason Jia

Date: 2012-09-27

Company Address: Wujiang Science & Technology Innovation Park, Room 201, Building 5, No. 2358 Chang'an Rd, Wujiang City,
JiangSu Province, China (215200)
Tel:86-512-63008636 Fax:86-512-63006936 E-mail: sales@betapharma.cn info@betapharma.cn



CERTIFICATE OF ANALYSIS
[Stability of Benzyl(dimethyl)(octan-1-yl)ammonium chloride]

Stage: Measurement of stability after the end of experiment

Date of analysis: June 14, 2013
December 7, 2012 [reference spectrum (A-2513)]

Test article: Benzyl(dimethyl)(octan-1-yl)ammonium chloride
(Lot number: 20120927)

Test item: Infrared spectrophotometry (KBr pellet method)

Acceptance criteria: Obtain the spectrum similar to the reference spectrum
(A-2513).

Results: The spectrum similar to the reference spectrum
(A-2513) was obtained. In addition, the infrared
absorption spectra are described separately.

Judgment: Passed

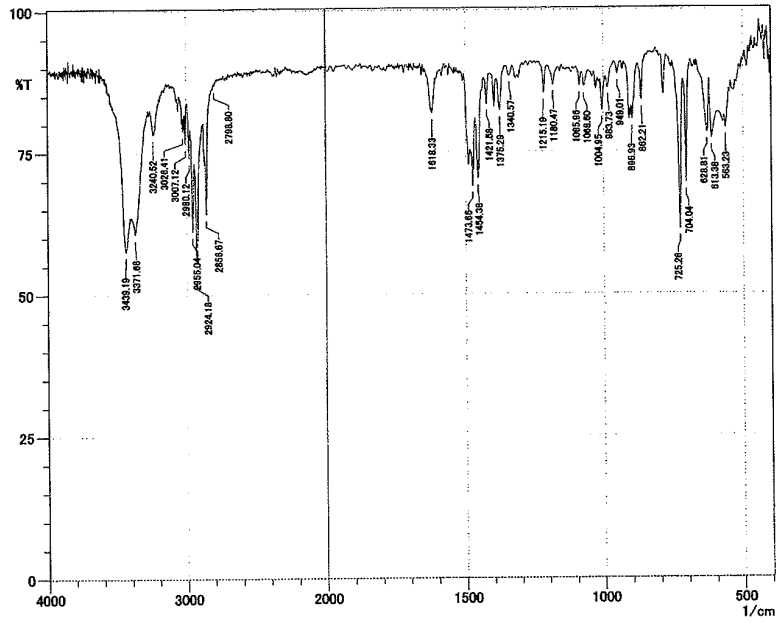
Regulation:
“Regulations of Testing Facilities for Studies on New Chemical Substances etc.”,
March 31, 2011, YakuShokuHatsu 0331 No. 8, Heisei 23-03-29 SeiKyoku No. 6,
KanHoKiHatsu No. 110331010



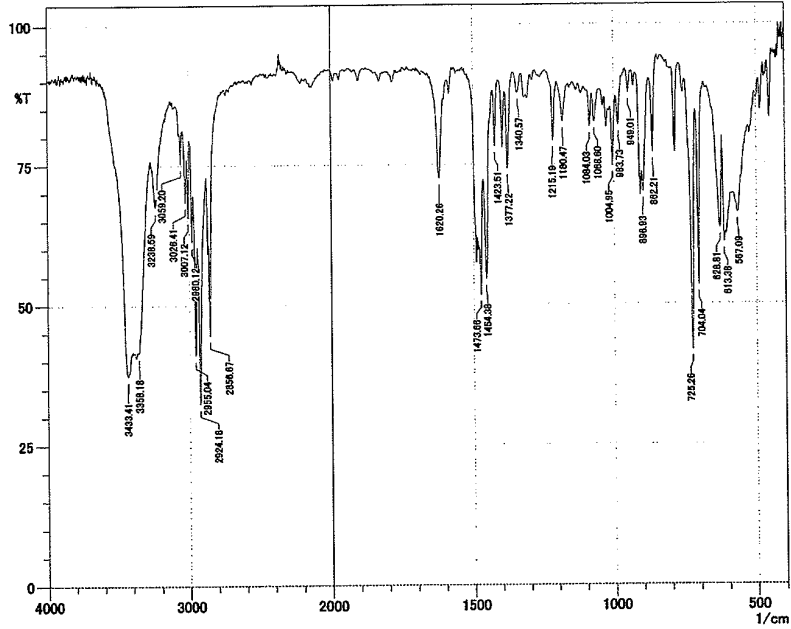
June 25, 2013
Date

Person responsible for analysis
Gotemba Laboratory, Bozo Research Center Inc.

Results:



[reference spectrum (A-2513)]



(Stability)

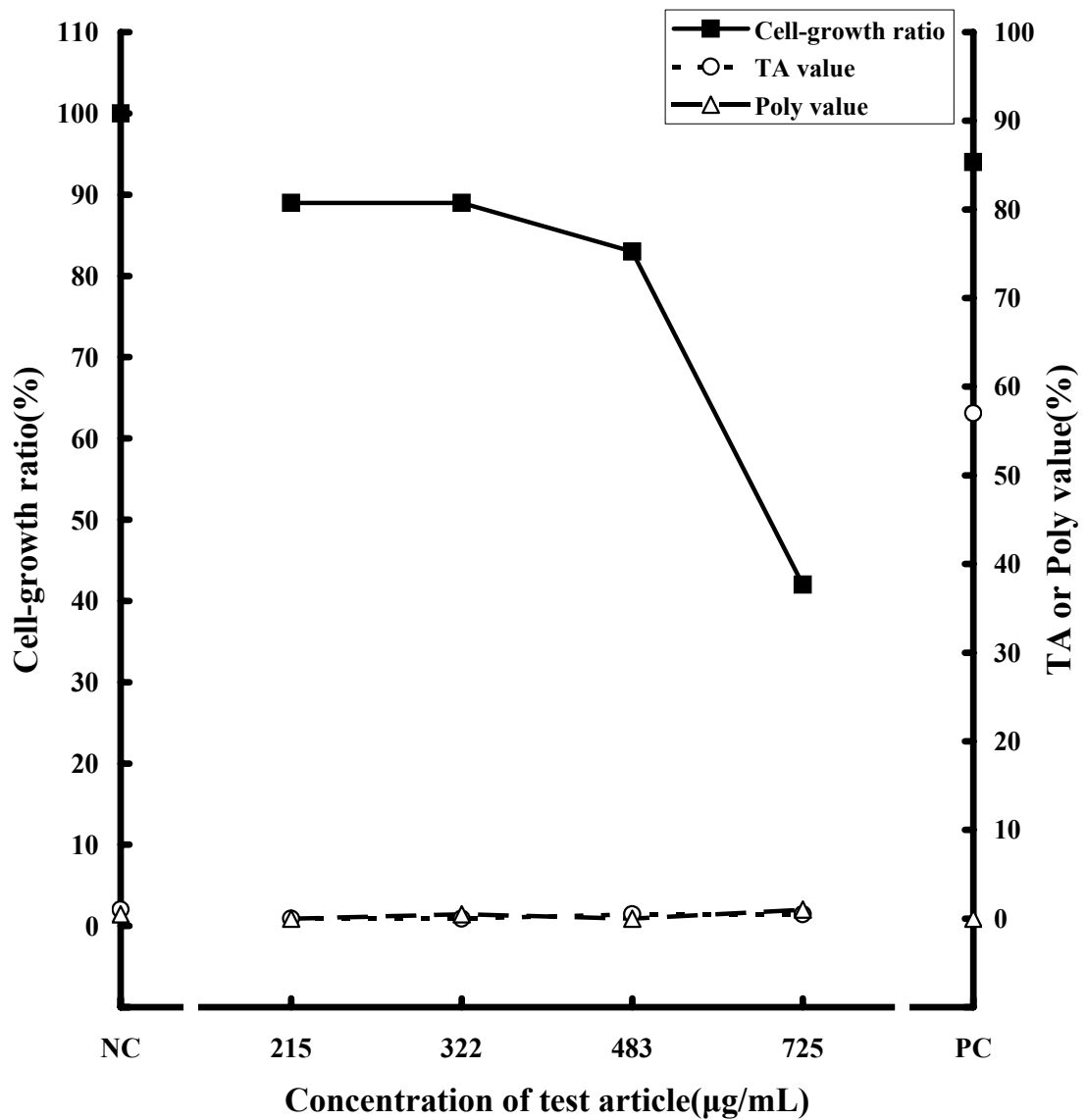


Fig. 1

Results of the chromosome aberration test in cultured Chinese hamster (CHL/IU) cells treated with Benzyl(dimethyl)(octan-1-yl)ammonium chloride
 [Short-term treatment : +S9 mix]

NC : Negative Control(water for injection)

PC : Positive control (cyclophosphamide : 14 µg/mL)

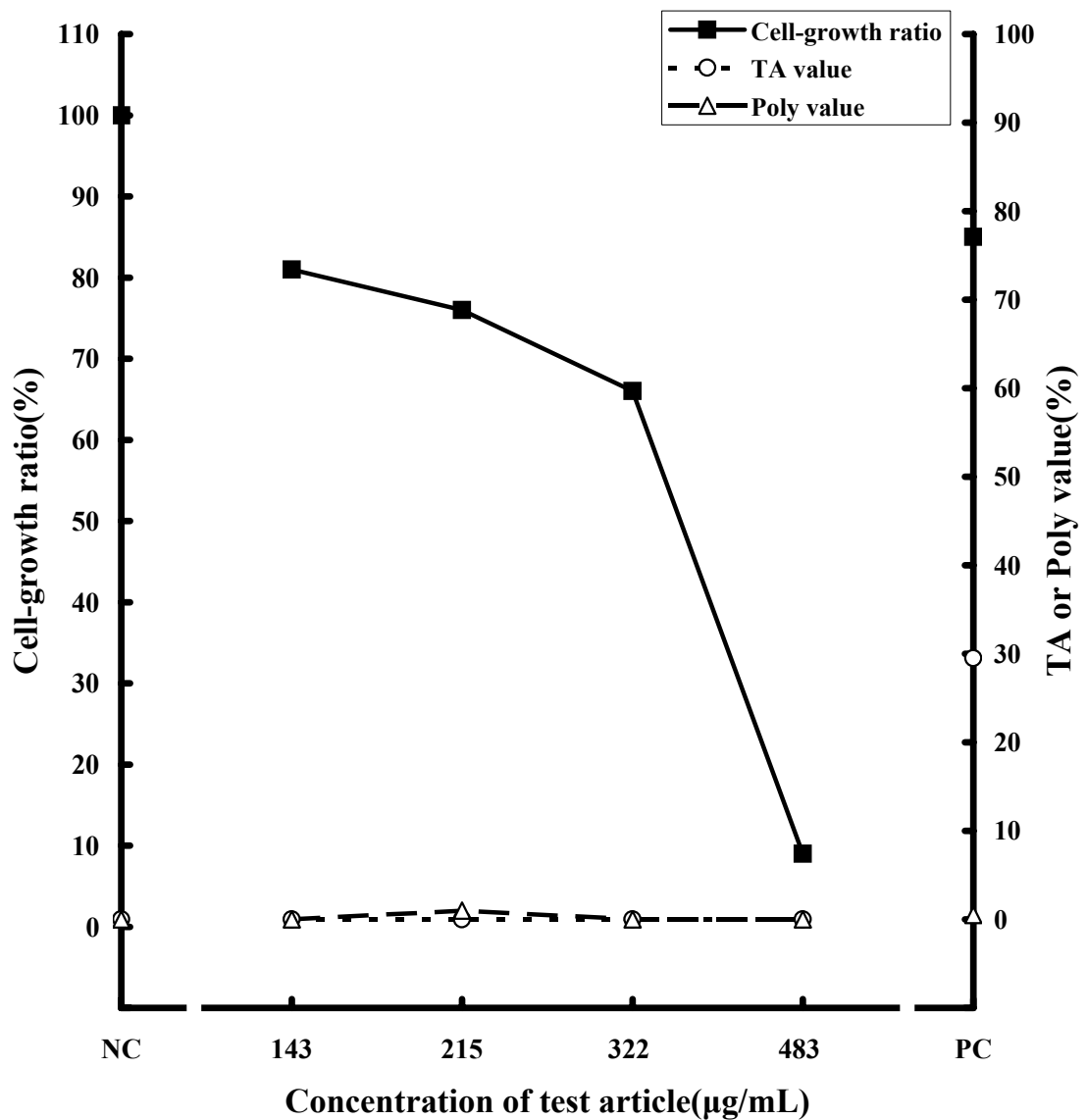


Fig. 2

Results of the chromosome aberration test in cultured Chinese hamster (CHL/IU) cells treated with Benzyl(dimethyl)(octan-1-yl)ammonium chloride
 [Short-term treatment : -S9 mix]

NC : Negative Control(water for injection)

PC : Positive control (mitomycin C : 0.075 µg/mL)

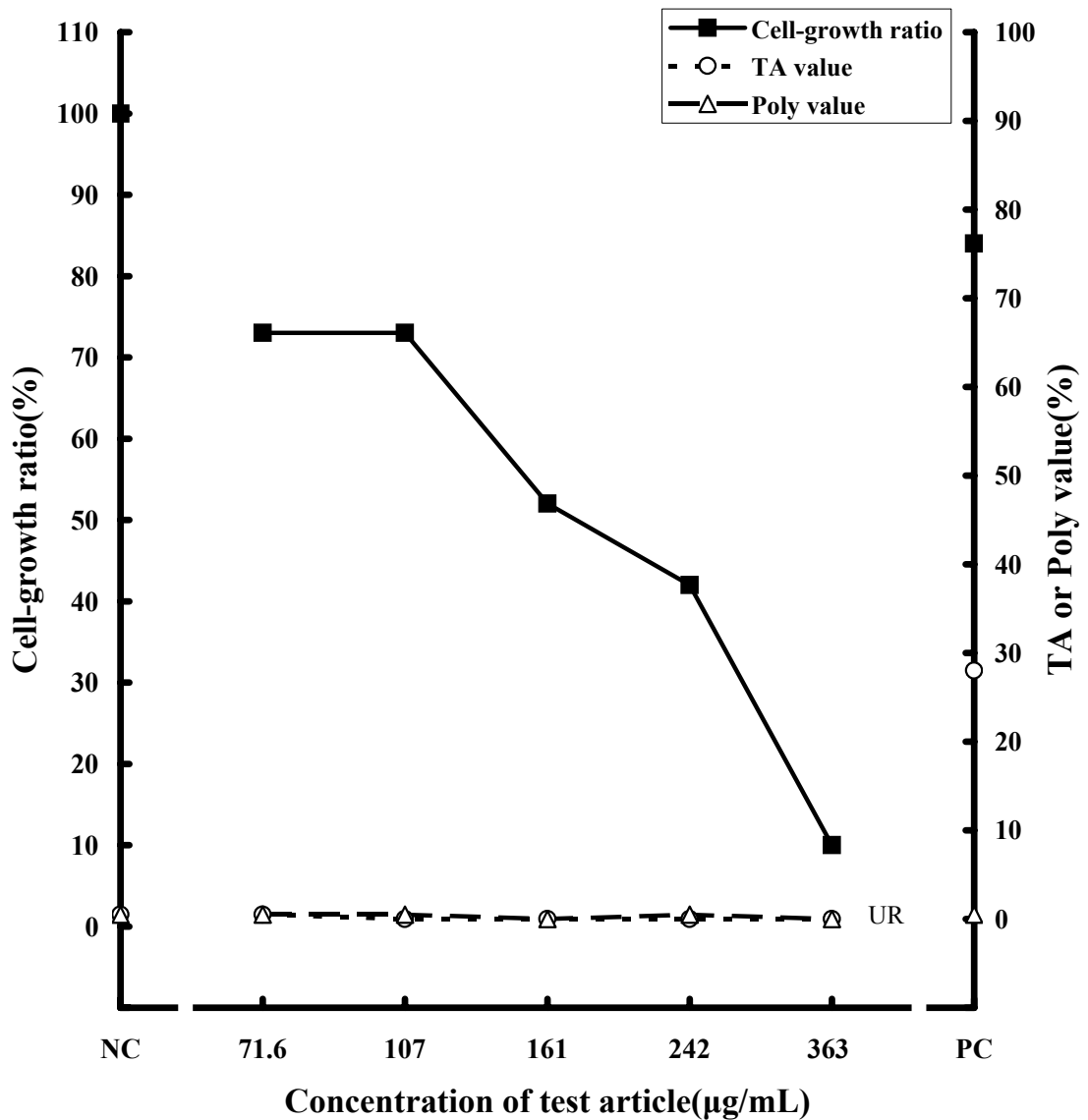


Fig. 3

Results of the chromosome aberration test in cultured Chinese hamster (CHL/IU) cells treated with Benzyl(dimethyl)(octan-1-yl)ammonium chloride
[Continuous treatment : 24hr]

NC : Negative Control(water for injection)

PC : Positive control (mitomycin C : 0.050 µg/mL)

UR : These values were judged to be unreliable since no sufficient number of chromosome could be observed due to severe cytotoxicity.

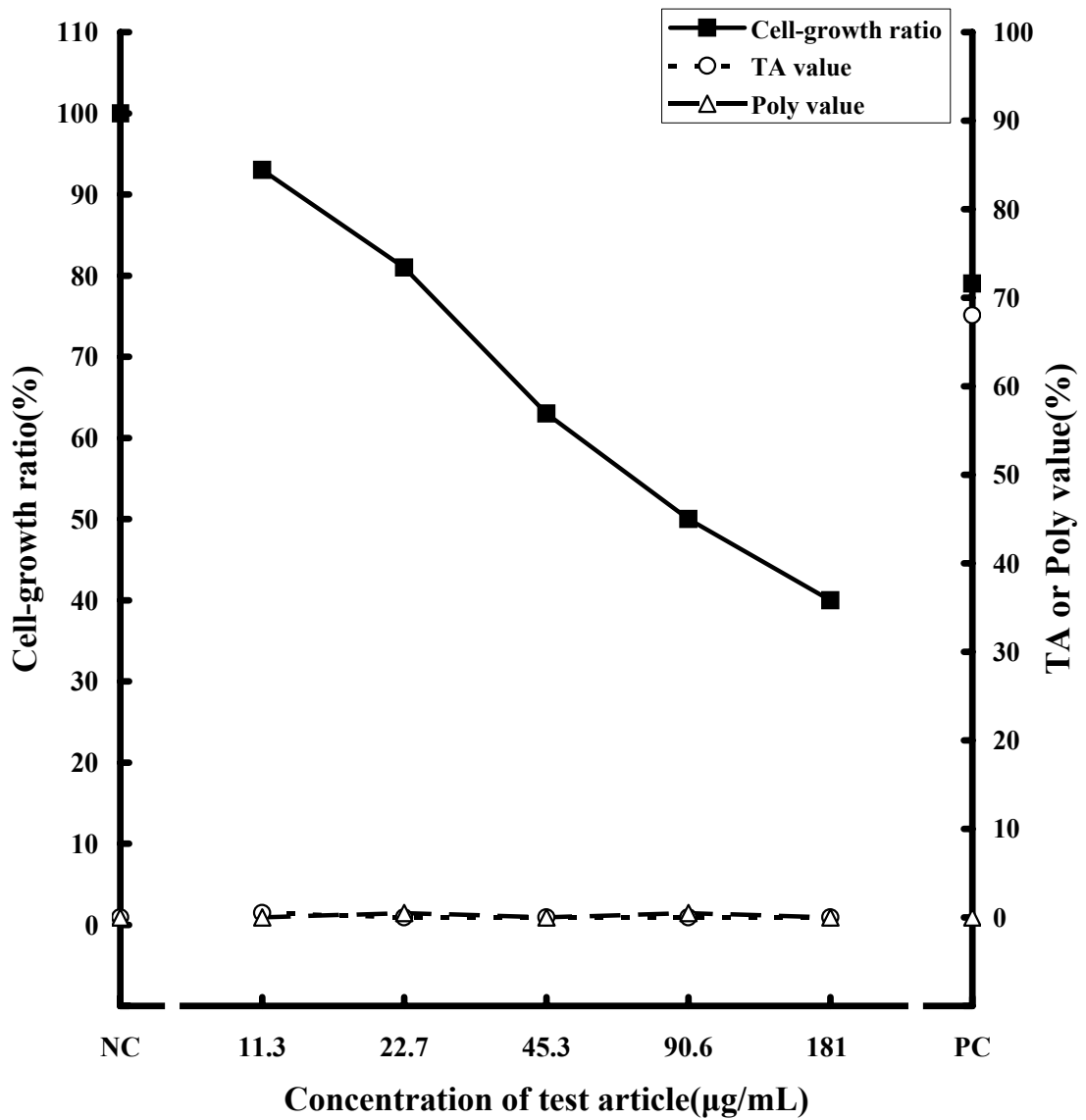


Fig. 4

Results of the chromosome aberration test in cultured Chinese hamster (CHL/IU) cells treated with Benzyl(dimethyl)(octan-1-yl)ammonium chloride
[Continuous treatment : 48hr]

NC : Negative Control(water for injection)

PC : Positive control (mitomycin C : 0.050 µg/mL)

Table 1 Chromosome aberration in cultured Chinese hamster (CHL/IU) cells treated with Benzyl(dimethyl)(octan-1-yl)ammonium chloride
[Short-term treatment:+S9 mix]

Time (h)	S9 mix	Conc. of test article (µg/mL)	Number of cells with structural chromosome aberration (%)									Cell-growth ratio (%)	Number of cells with numerical chromosome aberration (%)					
			Cells observed	ctb	cte	csb	cse	other	TA(%)	g	TAG(%)		Judge-ment	Cells observed	Polyploid cells	other	Total (%)	Judge-ment
6-18	+	NC	100	0	0	0	0	0	0	0	0	100	100	0	0	0		
			100	0	2	0	0	0	2	0	2	-	111	100	1	0	1	-
			200	0(0.0)	2(1.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(1.0)	0(0.0)	2(1.0)		(100)	200	1(0.5)	0(0.0)	1(0.5)	
			100	0	0	0	0	0	0	0	0	88	100	0	0	0		
			100	0	0	0	0	0	0	0	0	-	99	100	0	0	0	-
			200	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)		(89)	200	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	
		322	100	0	0	0	0	0	0	0	0	88	100	1	0	1		
			100	0	0	0	0	0	0	0	0	-	99	100	0	0	0	-
			200	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)		(89)	200	1(0.5)	0(0.0)	1(0.5)	
			100	0	0	0	0	0	0	0	0	88	100	0	0	0		
			100	1	0	0	0	0	1	0	1	-	88	100	0	0	0	-
			200	1(0.5)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(0.5)	0(0.0)	1(0.5)		(83)	200	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	
		483	100	0	0	0	0	0	0	0	0	44	100	1	0	1		
			100	0	1	0	0	0	1	0	1	-	44	100	1	0	1	-
			200	0(0.0)	1(0.5)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(0.5)	0(0.0)	1(0.5)		(42)	200	2(1.0)	0(0.0)	2(1.0)	
			100	10	52	0	0	0	58	0	58	99	100	0	0	0		
			100	9	50	0	0	0	56	0	56	+	99	100	0	0	0	-
			200	19(9.5)	102(51.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	114(57.0)	0(0.0)	114(57.0)		(94)	200	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	

g: chromatid or chromosome gap, ctb: chromatid break, cte: chromatid exchange, csb: chromosome break, cse: chromosome exchange, other: including fragmentation

TA: total number of cells with aberration excluding gap, TAG: total number of cells with aberration including gap.

NC: Negative control (water for injection)

PC: Positive control (cyclophosphamide, 14 µg/mL)

Each value in parenthesis on cell-growth ratio (%) data showed mean of cell-growth ratio against the negative control.

Table 2 Chromosome aberration in cultured Chinese hamster (CHL/IU) cells treated with Benzyl(dimethyl)(octan-1-yl)ammonium chloride
[Short-term treatment:-S9 mix]

Time (h)	S9 mix	Conc. of test article (µg/mL)	Number of cells with structural chromosome aberration (%)									Cell-growth ratio (%)	Number of cells with numerical chromosome aberration (%)						
			Cells observed	ctb	cte	csb	cse	other	TA(%)	g	TAG(%)		Judge-ment	Cells observed	Polyploid cells	other	Total (%)	Judge-ment	
6-18	-	NC	100	0	0	0	0	0	0	0	0	-	100	100	0	0	0	-	
			100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	90	100	0	0	0	-
			200	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	-	(100)	200	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	-
		143	100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	81	100	0	0	0	-
			100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	72	100	0	0	0	-
			200	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	-	(81)	200	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	-
		215	100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	72	100	2	0	2	-
			100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	72	100	0	0	0	-
			200	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	-	(76)	200	2(1.0)	0(0.0)	2(1.0)	-
		322	100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	63	100	0	0	0	-
			100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	63	100	0	0	0	-
			200	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	-	(66)	200	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	-
		483	85	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	9	85	0	0	0	-
			15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	9	15	0	0	0	-
			100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	9	100	0	0	0	-
		PC	200	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	-	(9)	200	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	-
			100	6	21	0	0	0	25	1	25	81	+	81	100	1	0	1	-
			100	13	24	0	1	0	34	0	34	81	+	81	100	0	0	0	-
		200	19(9.5)	45(22.5)	0(0.0)	1(0.5)	0(0.0)	59(29.5)	1(0.5)	59(29.5)	+	(85)	200	1(0.5)	0(0.0)	1(0.5)	-		

g: chromatid or chromosome gap, ctb: chromatid break, cte: chromatid exchange, csb: chromosome break, cse: chromosome exchange,

other: including fragmentation

TA: total number of cells with aberration excluding gap, TAG: total number of cells with aberration including gap.

NC: Negative control (water for injection)

PC: Positive control (mitomycin C, 0.075 µg/mL)

Each value in parenthesis on cell-growth ratio (%) data showed mean of cell-growth ratio against the negative control.

Table 3 Chromosome aberration in cultured Chinese hamster (CHL/IU) cells treated with Benzyl(dimethyl)(octan-1-yl)ammonium chloride
[Continuous treatment:24hr]

Time (h)	S9 mix	Conc. of test article (µg/mL)	Number of cells with structural chromosome aberration (%)									Cell-growth ratio (%)	Number of cells with numerical chromosome aberration (%)					
			Cells observed	ctb	cte	csb	cse	other	TA(%)	g	TAG(%)		Judge-ment	Cells observed	Polyploid cells	other	Total (%)	Judge-ment
24-0	-	NC	100	0	0	0	0	0	0	0	0	100	100	0	0	0		
			100	0	1	0	0	0	1	0	1	-	89	100	1	0	1	-
			200	0(0.0)	1(0.5)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(0.5)	0(0.0)	1(0.5)	-	(100)	200	1(0.5)	0(0.0)	1(0.5)	-
		71.6	100	0	0	0	0	0	0	0	0	69	100	1	0	1		
			100	1	0	0	0	0	1	0	1	-	69	100	0	0	0	-
			200	1(0.5)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(0.5)	0(0.0)	1(0.5)	-	(73)	200	1(0.5)	0(0.0)	1(0.5)	-
		107	100	0	0	0	0	0	0	0	0	69	100	1	0	1		
			100	0	0	0	0	0	0	0	0	-	69	100	0	0	0	-
			200	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	-	(73)	200	1(0.5)	0(0.0)	1(0.5)	-
		161	100	0	0	0	0	0	0	0	0	49	100	0	0	0		
			100	0	0	0	0	0	0	0	0	-	49	100	0	0	0	-
			200	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	-	(52)	200	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	-
		242	100	0	0	0	0	0	0	0	0	40	100	1	0	1		
			100	0	0	0	0	0	0	0	0	-	40	100	0	0	0	-
			200	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	-	(42)	200	1(0.5)	0(0.0)	1(0.5)	-
		363	68	0	0	0	0	0	0	0	0	9	68	0	0	0		
			32	0	0	0	0	0	0	0	0		32	0	0	0		
			41	0	0	0	0	0	0	0	0	UR	9	41	0	0	0	UR
			40	0	0	0	0	0	0	0	0		40	0	0	0		
			181	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)		(10)	181	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	
		PC	100	7	29	0	0	0	34	0	34	79	100	0	0	0		
			100	5	19	0	0	0	22	0	22	+	79	100	1	0	1	-
			200	12(6.0)	48(24.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	56(28.0)	0(0.0)	56(28.0)		(84)	200	1(0.5)	0(0.0)	1(0.5)	

g: chromatid or chromosome gap, ctb: chromatid break, cte: chromatid exchange, csb: chromosome break, cse: chromosome exchange,

other: including fragmentation

TA: total number of cells with aberration excluding gap, TAG: total number of cells with aberration including gap.

NC: Negative control (water for injection)

PC: Positive control (mitomycin C, 0.050 µg/mL)

Each value in parenthesis on cell-growth ratio (%) data showed mean of cell-growth ratio against the negative control.

UR: These values were judged to be unreliable since no sufficient number of chromosomes could be observed due to severe cytotoxicity.

Table 4 Chromosome aberration in cultured Chinese hamster (CHL/IU) cells treated with Benzyl(dimethyl)(octan-1-yl)ammonium chloride
[Continuous treatment:48hr]

Time (h)	S9 mix	Conc. of test article (µg/mL)	Number of cells with structural chromosome aberration (%)									Cell-growth ratio (%)	Number of cells with numerical chromosome aberration (%)						
			Cells observed	ctb	cte	csb	cse	other	TA(%)	g	TAG(%)		Judge-ment	Cells observed	Polyploid cells	other	Total (%)	Judge-ment	
48-0	-	NC	100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100	100	0	0	0		
			100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	100	100	0	0	0	-
			200	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	(100)	200	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	
		11.3	100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	95	100	0	0	0		
			100	1	0	0	0	0	0	1	0	1	-	90	100	0	0	0	-
			200	1(0.5)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(0.5)	0(0.0)	1(0.5)	-	(93)	200	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	
		22.7	100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	81	100	1	0	1		
			100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	81	100	0	0	0	-
			200	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	-	(81)	200	1(0.5)	0(0.0)	1(0.5)	
		45.3	100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	63	100	0	0	0		
			100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	63	100	0	0	0	-
			200	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	-	(63)	200	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	
		90.6	100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	50	100	0	0	0		
			100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	50	100	1	0	1	-
			200	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	-	(50)	200	1(0.5)	0(0.0)	1(0.5)	
		181	100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40	100	0	0	0		
			100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	40	100	0	0	0	-
			200	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	-	(40)	200	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	
		PC	100	18	65	0	0	0	68	0	68	81	81	100	0	0	0		
			100	23	60	0	0	0	68	0	68	77	77	100	0	0	0	-	
			200	41(20.5)	125(62.5)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	136(68.0)	0(0.0)	136(68.0)	(79)	79	200	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)		

g: chromatid or chromosome gap, ctb: chromatid break, cte: chromatid exchange, csb: chromosome break, cse: chromosome exchange, other: including fragmentation

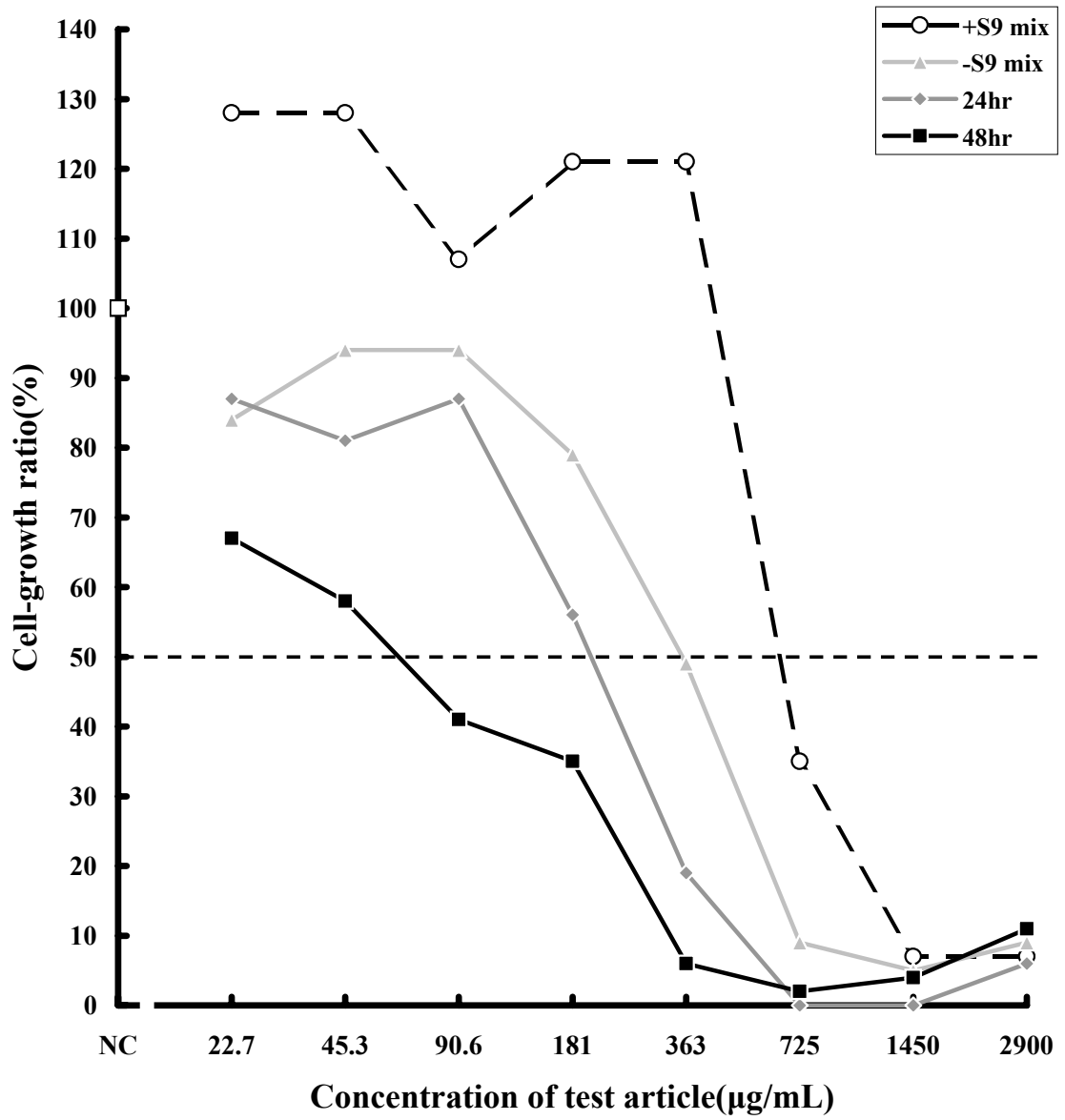
TA: total number of cells with aberration excluding gap, TAG: total number of cells with aberration including gap.

NC: Negative control (water for injection)

PC: Positive control (mitomycin C, 0.050 µg/mL)

Each value in parenthesis on cell-growth ratio (%) data showed mean of cell-growth ratio against the negative control.

T-G057



Appendix 1

Results of the cell-growth inhibition test in cultured Chinese hamster (CHL/IU) cells treated with Benzyl (dimethyl) (octan-1-yl) ammonium chloride

NC : Negative Control(water for injection)

Appendix 2-1

Cell-growth ratio in the cell-growth inhibition test in cultured Chinese hamster (CHL/IU) cells treated with Benzyl (dimethyl) (octan-1-yl) ammonium chloride

[Short-term treatment : +S9 mix]

Cell-growth inhibition test								
Study type		Treatment and Concentration (µg/mL)	Cell-growth ratio		Observation ^{e)}			
S9 mix	time (hr)		Plate 1 and 2	Mean (%) ^{b)}	Condition of cells ^{d)}	Color of medium ^{e)}	Precipitates/Crystals ^{f)}	
							1)	2)
+	6-18	0 (NC)	100 ^{a)}	100	-	-	-	-
			100		-	-	-	-
		22.7	128	128	-	-	-	-
			128		-	-	-	-
		45.3	128	128	-	-	-	-
			128		-	-	-	-
		90.6	100	107	-	-	-	-
			114		-	-	-	-
		181	128	121	+	-	-	-
			114		+	-	-	-
		363	128	121	+	-	-	-
			114		+	-	-	-
		725	42	35	+++	-	-	-
			28		+++	-	-	-
		1450	14	7	TOX	-	-	+
			0		TOX	-	-	+
		2900	14	7	+++	-	-	+
			0		+++	-	-	+
Concentration of 50% cell-growth inhibition :					641	µg/mL		

NC : Negative Control(water for injection)

a) The plate in the negative control group was regarded as a 100% growth.

b) The mean showed as a growth ratio against the negative control value.

c) Condition of cells was observed at the end of treatment. Color of medium was observed immediately after addition of the test solutions. Precipitates/crystals were observed¹⁾ immediately after addition of the test solutions and²⁾ at the end of treatment.

d) - : Most of the cells were attached to the surface of plates and grew as a monolayer. Their shape was normal.

+ : A small number of cells were detached from the surface of the plate and floated in the culture medium. The shape of attached cells was also altered.

+++ : Most of the cells were detached from the surface of the plate and floated in the culture medium. The shape of attached cells was also altered.

TOX : There existed few cells attached to the surface of the plate and almost all cells were detached and/or dead.

e) - : No changes of color

f) - : Absence of precipitates

+ : Presence of precipitates floating in the medium.

All calculations were carried out using Excel 2003

Appendix 2-2

Cell-growth ratio in the cell-growth inhibition test in cultured Chinese hamster (CHL/IU) cells treated with Benzyl (dimethyl) (octan-1-yl) ammonium chloride

[Short-term treatment : -S9 mix]

Cell-growth inhibition test									
Study type		Treatment and Concentration (µg/mL)	Cell-growth ratio		Observation ^{c)}				
S9 mix	time (hr)		Plate 1 and 2	Mean (%) ^{b)}	Condition of cells ^{d)}	Color of medium ^{e)}	Precipitates/Crystals ^{f)}		
							1)	2)	
-	6-18	0 (NC)	100 ^{a)}	100	-	-	-	-	
			99		-	-	-	-	
		22.7	89	84	-	-	-	-	-
			79		-	-	-	-	
		45.3	89	94	-	-	-	-	-
			99		-	-	-	-	
		90.6	99	94	-	-	-	-	-
			89		-	-	-	-	
		181	79	79	-	-	-	-	-
			79		-	-	-	-	
		363	59	49	++	-	-	-	-
			39		++	-	-	-	-
		725	9	9	+++	-	-	-	-
			9		+++	-	-	-	-
1450	0	5	+++	-	-	-	-		
	9		+++	-	-	-	-		
2900	9	9	+++	-	-	-	-		
	9		+++	-	-	-	-		
Concentration of 50% cell-growth inhibition :					357	µg/mL			

NC : Negative Control(water for injection)

a) The plate in the negative control group was regarded as a 100% growth.

b) The mean showed as a growth ratio against the negative control value.

c) Condition of cells was observed at the end of treatment. Color of medium was observed immediately after addition of the test solutions. Precipitates/crystals were observed¹⁾ immediately after addition of the test solutions and²⁾ at the end of treatment.

d) - : Most of the cells were attached to the surface of plates and grew as a monolayer. Their shape was normal.

++ : Approximately half of cells were detached from the surface of the plate and floated in the culture medium. The shape of attached cells was also altered.

+++ : Most of the cells were detached from the surface of the plate and floated in the culture medium. The shape of attached cells was also altered.

e) - : No changes of color

f) - : Absence of precipitates

All calculations were carried out using Excel 2003

Appendix 2-3

Cell-growth ratio in the cell-growth inhibition test in cultured Chinese hamster (CHL/IU) cells treated with Benzyl (dimethyl) (octan-1-yl) ammonium chloride

[Continuous treatment : 24hr]

Cell-growth inhibition test									
Study type		Treatment and Concentration (µg/mL)	Cell-growth ratio		Observation ^{e)}				
S9 mix	time (hr)		Plate 1 and 2	Mean (%) ^{b)}	Condition of cells ^{d)}	Color of medium ^{e)}	Precipitates/Crystals ^{f)}		
							1)	2)	
-	24-0	0 (NC)	100 ^{a)}	100	-	-	-	-	
			99		-	-	-	-	
		22.7	87	87	-	-	-	-	-
			87		-	-	-	-	
		45.3	87	81	-	-	-	-	-
			74		-	-	-	-	
		90.6	87	87	-	-	-	-	-
			87		-	-	-	-	
		181	62	56	+	-	-	-	-
			49		+	-	-	-	-
		363	25	19	++	-	-	-	-
			12		++	-	-	-	-
		725	0	0	+++	-	-	-	-
			0		+++	-	-	-	-
1450	0	0	+++	-	-	-	-		
	0		+++	-	-	-	-		
2900	12	6	+++	-	-	-	-		
	0		+++	-	-	-	-		
Concentration of 50% cell-growth inhibition :					211	µg/mL			

NC : Negative Control(water for injection)

a) The plate in the negative control group was regarded as a 100% growth.

b) The mean showed as a growth ratio against the negative control value.

c) Condition of cells was observed at the end of treatment. Color of medium was observed immediately after addition of the test solutions. Precipitates/crystals were observed¹⁾ immediately after addition of the test solutions and²⁾ at the end of treatment.

d) - : Most of the cells were attached to the surface of plates and grew as a monolayer. Their shape was normal.

+ : A small number of cells were detached from the surface of the plate and floated in the culture medium. The shape of attached cells was also altered.

++ : Approximately half of cells were detached from the surface of the plate and floated in the culture medium. The shape of attached cells was also altered.

+++ : Most of the cells were detached from the surface of the plate and floated in the culture medium. The shape of attached cells was also altered.

e) - : No changes of color

f) - : Absence of precipitates

All calculations were carried out using Excel 2003

Appendix 2-4

Cell-growth ratio in the cell-growth inhibition test in cultured Chinese hamster (CHL/IU) cells treated with Benzyl (dimethyl) (octan-1-yl) ammonium chloride

[Continuous treatment : 48hr]

Cell-growth inhibition test									
Study type		Treatment and Concentration (µg/mL)	Cell-growth ratio		Observation ^{e)}				
S9 mix	time (hr)		Plate 1 and 2	Mean (%) ^{b)}	Condition of cells ^{d)}	Color of medium ^{e)}	Precipitates/Crystals ^{f)}		
							1)	2)	
-	48-0	0 (NC)	100 ^{a)}	100	-	-	-	-	
			104		-	-	-	-	
		22.7	71	67	-	-	-	-	-
			66		-	-	-	-	
		45.3	61	58	+	-	-	-	-
			57		+	-	-	-	
		90.6	42	41	++	-	-	-	-
			42		++	-	-	-	
		181	38	35	++	-	-	-	-
			33		++	-	-	-	
		363	9	6	+++	-	-	-	-
			4		+++	-	-	-	
		725	4	2	+++	-	-	-	-
			0		+++	-	-	-	
		1450	4	4	+++	-	-	-	-
			4		+++	-	-	-	
2900	14	11	TOX	-	-	-	-		
	9		TOX	-	-	-			
Concentration of 50% cell-growth inhibition :					67	µg/mL			

NC : Negative Control(water for injection)

a) The plate in the negative control group was regarded as a 100% growth.

b) The mean showed as a growth ratio against the negative control value.

c) Condition of cells was observed at the end of treatment. Color of medium was observed immediately after addition of the test solutions. Precipitates/crystals were observed¹⁾ immediately after addition of the test solutions and²⁾ at the end of treatment.

d) - : Most of the cells were attached to the surface of plates and grew as a monolayer. Their shape was normal.

+ : A small number of cells were detached from the surface of the plate and floated in the culture medium. The shape of attached cells was also altered.

++ : Approximately half of cells were detached from the surface of the plate and floated in the culture medium. The shape of attached cells was also altered.

+++ : Most of the cells were detached from the surface of the plate and floated in the culture medium. The shape of attached cells was also altered.

TOX : There existed few cells attached to the surface of the plate and almost all cells were detached and/or dead.

e) - : No changes of color

f) - : Absence of precipitates

All calculations were carried out using Excel 2003

Appendix 3-1

Results of observation in the chromosome aberration test in cultured Chinese hamster (CHL/IU) cells treated with Benzyl(dimethyl)(octan-1-yl)ammonium chloride

[Short-term treatment : +S9 mix]

Chromosome aberration test							
Study type		Treatment and Concentration (µg/mL)	Observation ^{a)}				
S9 mix	time (hr)		Condition of cells ^{b)}	Color of medium ^{c)}	Precipitates/Crystals ^{d)}		
						1)	2)
+	6-18	0 (NC)	-	-	-	-	
			-	-	-	-	
		Test article	215	-	-	-	-
				-	-	-	-
			322	+	-	-	-
				+	-	-	-
			483	+	-	-	-
			+	-	-	-	
		725	++	-	-	-	-
			++	-	-	-	-
PC	-	-	-	-	-		
	-	-	-	-	-		

NC : Negative Control(water for injection)

PC : Positive control (cyclophosphamide : 14 µg/mL)

- a) Condition of cells was observed at the end of treatment. Color of medium was observed immediately after addition of the test solutions. Precipitates/crystals were observed¹⁾immediately after addition of the test solutions and²⁾at the end of treatment. Upper and lower columns in each observation indicate the result of plate digit numbers 3 and 4, respectively.
- b) - : Most of the cells were attached to the surface of plates and grew as a monolayer. Their shape was normal.
 + : A small number of cells were detached from the surface of the plate and floated in the culture medium. The shape of attached cells was also altered.
 ++ : Approximately half of cells were detached from the surface of the plate and floated in the culture medium. The shape of attached cells was also altered.
- c) - : No changes of color
- d) - : Absence of precipitates

Appendix 3-2

Results of observation in the chromosome aberration test in cultured Chinese hamster (CHL/IU) cells treated with Benzyl(dimethyl)(octan-1-yl)ammonium chloride

[Short-term treatment : -S9 mix]

Chromosome aberration test							
Study type		Treatment and Concentration (µg/mL)	Observation ^{a)}				
S9 mix	time (hr)		Condition of cells ^{b)}	Color of medium ^{c)}	Precipitates/Crystals ^{d)}		
						1)	2)
-	6-18	0 (NC)	-	-	-	-	
			-	-	-	-	
		Test article	143	-	-	-	-
				-	-	-	-
			215	+	-	-	-
				+	-	-	-
			322	++	-	-	-
			++	-	-	-	
		483	+++	-	-	-	-
			+++	-	-	-	-
PC	-	-	-	-	-		
	-	-	-	-	-		

NC : Negative Control(water for injection)

PC : Positive control (mitomycin C : 0.075 µg/mL)

- a) Condition of cells was observed at the end of treatment. Color of medium was observed immediately after addition of the test solutions. Precipitates/crystals were observed¹⁾immediately after addition of the test solutions and²⁾at the end of treatment. Upper and lower columns in each observation indicate the result of plate digit numbers 3 and 4, respectively.
- b) - : Most of the cells were attached to the surface of plates and grew as a monolayer. Their shape was normal.
 + : A small number of cells were detached from the surface of the plate and floated in the culture medium. The shape of attached cells was also altered.
 ++ : Approximately half of cells were detached from the surface of the plate and floated in the culture medium. The shape of attached cells was also altered.
 +++ : Most of the cells were detached from the surface of the plate and floated in the culture medium. The shape of attached cells was also altered.
- c) - : No changes of color
- d) - : Absence of precipitates

Appendix 3-3

Results of observation in the chromosome aberration test in cultured Chinese hamster (CHL/IU) cells treated with Benzyl(dimethyl)(octan-1-yl)ammonium chloride

[Continuous treatment : 24hr]

Chromosome aberration test							
Study type		Treatment and Concentration (µg/mL)	Observation ^{a)}				
S9 mix	time (hr)		Condition of cells ^{b)}	Color of medium ^{c)}	Precipitates/Crystals ^{d)}		
						1)	2)
-	24-0	0 (NC)	-	-	-	-	
			-	-	-	-	
		Test article	71.6	-	-	-	-
				-	-	-	-
			107	-	-	-	-
				-	-	-	-
			161	+	-	-	-
				+	-	-	-
		242	++	-	-	-	
			++	-	-	-	
		363	+++	-	-	-	
			+++	-	-	-	
		PC	-	-	-	-	
-	-		-	-			

NC : Negative Control(water for injection)

PC : Positive control (mitomycin C : 0.050 µg/mL)

a) Condition of cells was observed at the end of treatment. Color of medium was observed immediately after addition of the test solutions. Precipitates/crystals were observed¹⁾immediately after addition of the test solutions and²⁾at the end of treatment. Upper and lower columns in each observation indicate the result of plate digit numbers 3 and 4, respectively.

b) - : Most of the cells were attached to the surface of plates and grew as a monolayer. Their shape was normal.
 + : A small number of cells were detached from the surface of the plate and floated in the culture medium. The shape of attached cells was also altered.
 ++ : Approximately half of cells were detached from the surface of the plate and floated in the culture medium. The shape of attached cells was also altered.
 +++ : Most of the cells were detached from the surface of the plate and floated in the culture medium. The shape of attached cells was also altered.

c) - : No changes of color

d) - : Absence of precipitates

Appendix 3-4

Results of observation in the chromosome aberration test in cultured Chinese hamster (CHL/IU) cells treated with Benzyl(dimethyl)(octan-1-yl)ammonium chloride

[Continuous treatment : 48hr]

Chromosome aberration test							
Study type		Treatment and Concentration (µg/mL)	Observation ^{a)}				
S9 mix	time (hr)		Condition of cells ^{b)}	Color of medium ^{c)}	Precipitates/Crystals ^{d)}		
						1)	2)
-	48-0	0 (NC)	-	-	-	-	
			-	-	-	-	
		Test article	11.3	-	-	-	-
				-	-	-	-
			22.7	+	-	-	-
				+	-	-	-
			45.3	+	-	-	-
				+	-	-	-
		90.6	+	-	-	-	-
			+	-	-	-	-
		181	++	-	-	-	-
			++	-	-	-	-
PC	-	-	-	-	-		
	-	-	-	-	-		

NC : Negative Control(water for injection)

PC : Positive control (mitomycin C : 0.050 µg/mL)

a) Condition of cells was observed at the end of treatment. Color of medium was observed immediately after addition of the test solutions. Precipitates/crystals were observed¹⁾immediately after addition of the test solutions and²⁾at the end of treatment. Upper and lower columns in each observation indicate the result of plate digit numbers 3 and 4, respectively.

b) - : Most of the cells were attached to the surface of plates and grew as a monolayer. Their shape was normal.
 + : A small number of cells were detached from the surface of the plate and floated in the culture medium. The shape of attached cells was also altered.
 ++ : Approximately half of cells were detached from the surface of the plate and floated in the culture medium. The shape of attached cells was also altered.

c) - : No changes of color

d) - : Absence of precipitates

T-G057

信頼性保証書 (1/2)

試験番号 : T-G057

試験表題 : ベンジル (ジメチル) (オクタン-1-イル) アンモニウムクロリドのほ乳類培養細胞を用いる染色体異常試験

本試験は以下に示す基準を遵守して実施されたことを保証致します。

- 「新規化学物質等に係る試験を実施する試験施設に関する基準」
(平成 23 年 3 月 31 日、薬食発 0331 第 8 号、平成 23・03・29 製局第 6 号、
環企発第 110331010 号)

なお、調査は下記の通り実施致しました。

2013 年 11 月 20 日
株式会社ボゾリサーチセンター
信頼性保証部門

試験における調査

項目	担当者	調査日	試験責任者及び 運営管理者への 報告日
試験計画書		2013 年 4 月 4 日	2013 年 4 月 4 日
試験計画書変更書 (1)		2013 年 4 月 18 日	2013 年 4 月 18 日
細胞播種		2013 年 4 月 19 日	2013 年 4 月 19 日
調製・保存 (被験物質・陽性 対照物質)、被験物質の処理		2013 年 4 月 22 日	2013 年 4 月 22 日
染色体標本作製 (固定)		2013 年 4 月 23 日	2013 年 4 月 23 日
染色体標本作製 (染色)		2013 年 4 月 24 日	2013 年 4 月 24 日
染色体標本観察		2013 年 5 月 8 日	2013 年 5 月 8 日

信頼性保証書 (2/2)

項目	担当者	調査日	試験責任者及び 運営管理者への 報告日
被験物質の安定性	[Redacted]	2013年 6月 14日	2013年 6月 17日
生データ		2013年 7月 23日	2013年 7月 23日
改善確認		2013年 7月 25日	2013年 7月 25日
最終報告書草案・図・表・付表		2013年 7月 23日	2013年 7月 23日
改善確認		2013年 7月 25日	2013年 7月 25日
申請資料		2013年 7月 23日	2013年 7月 23日
改善確認		2013年 7月 25日	2013年 7月 25日
生データ (被験物質の安定性)		2013年 11月 18日	2013年 11月 18日
改善確認		2013年 11月 20日	2013年 11月 20日
最終報告書		2013年 11月 20日	2013年 11月 20日

施設調査

項目	担当者	調査日	部門責任者及び 運営管理者への 報告日
培養細胞の性状検査	[Redacted]	2013年 1月 18日	2013年 2月 8日
		2013年 1月 21日	
		2013年 1月 23日	
		2013年 1月 28日	
		2013年 2月 6日	